

新潟市のアリーナ整備とまちづくり



スポーツ施設や文化施設が集積する新潟の文化・芸術の拠点である白山エリア

新潟市

本州日本海側で初の1万人規模のアリーナへ

● GLION ARENA KOBE

(2025.4開業)

【音楽】約10,300席

【スポーツ】約9,700席

● あなぶきアリーナ香川

(2025.2開業)

【音楽】約7,400席

【スポーツ】約7,000席

● SAGAアリーナ

(2023.5開業)

【音楽】約8,000席

【スポーツ】約8,400席

● ハピネスアリーナ

(2024.10開業)

【音楽】約5,000席

【スポーツ】約6,000席

● 万博記念公園駅前 周辺地区活性化事業

(2030年 開業予定)

【音楽】約18,000席

【スポーツ】約13,400席

● TOYOTA ARENA TOKYO

(2025.10開業)

【音楽】約8,000席

【スポーツ】約10,000席

● 京都アリーナ

(2028年 開業予定)

【音楽】9,300席

【スポーツ】8,900席

● 開業済み

● 開業予定 (2027～)

● LaLa arena TOKYO -BAY

(2024.5開業)

【音楽】約11,000席

【スポーツ】約10,000席

● 有明アリーナ

(2022.8開業)

【音楽】約13,000席

【スポーツ】約14,500席

● 静岡市アリーナ

(2030年開業予定)

【音楽・スポーツ】約10,000席

● 沖縄アリーナ

(2021.4開業)

【音楽】約8,000席

【スポーツ】約8,500席

● 名古屋アリーナ

(2028初頭開業)

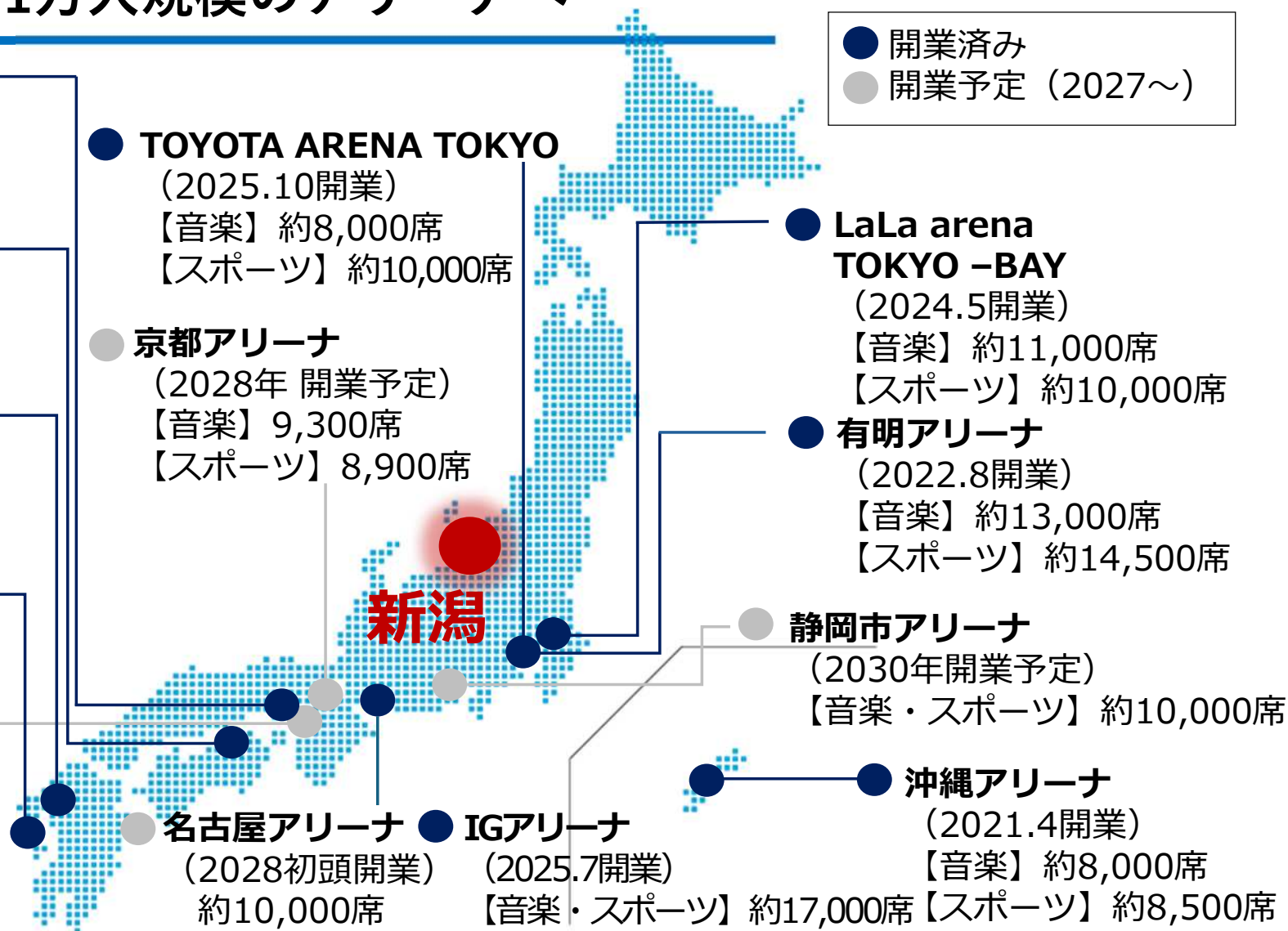
約10,000席

● IGアリーナ

(2025.7開業)

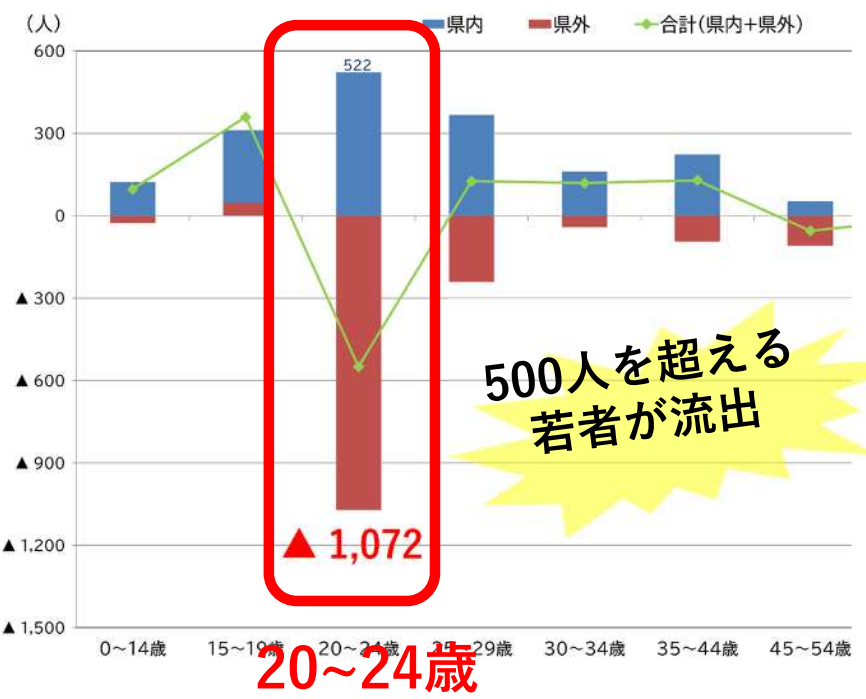
【音楽・スポーツ】約17,000席

新潟



本市の重要課題「若者流出をいかに食い止めるか」

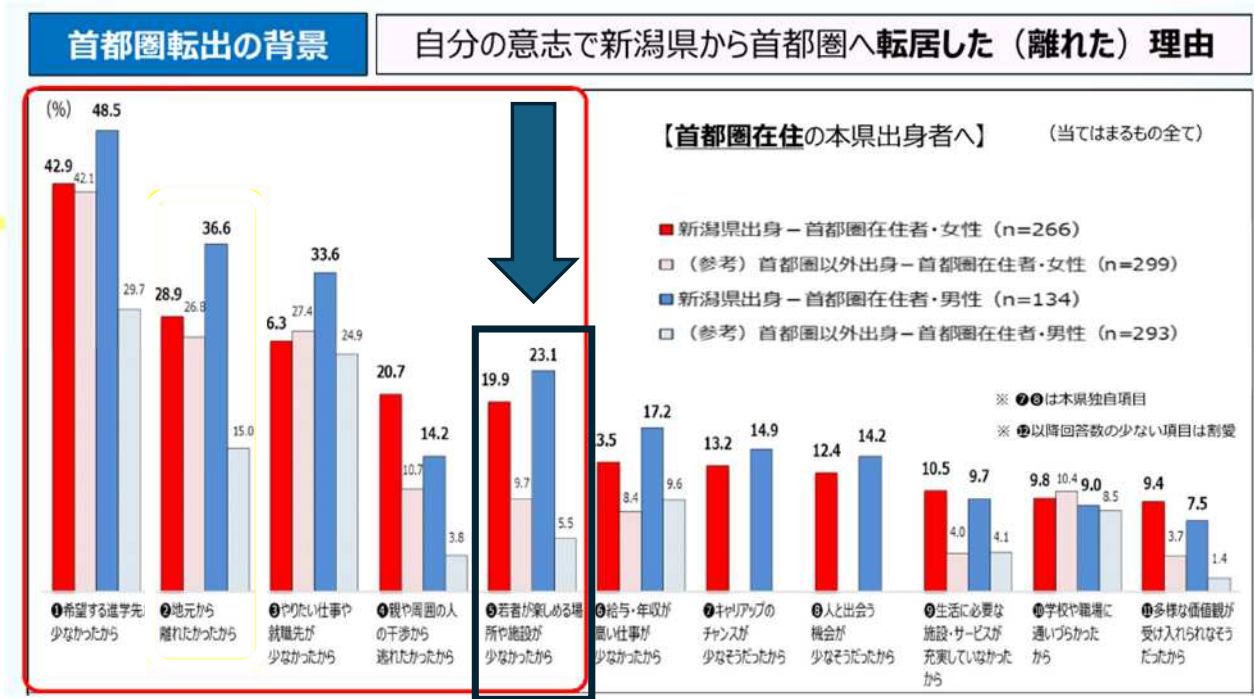
20～24歳の県外への転出超過が多く、
活力低下・地域経済の縮小等を懸念



出典:新潟県人口移動調査結果報告
(令和6年10月1日～令和7年9月30日)

新潟県から首都圏転出の背景として「若者が楽しめる場所や施設が少なかったから」とする理由も多く、**若者が「新潟に居たい！」と思える施策が必要**

(出典) 新潟県出身若年層の意識に関する調査



アリーナ実現に向けた機運の高まり

アリーナ実現に向け、経済界や市議会、屋内競技団体等から要望を受けている。



R7.12.26
新潟アリーナ推進フォーラム（賛同企業34社）



R7.11.19
新潟市議会スポーツ振興議員連盟有志一同（37名）



R8.1.27
新潟市レスリング協会等屋内競技5団体
（レスリング・バスケットボール、バレーボール、バトミントン、卓球）

アリーナの整備



出所) 国土地理院「地理院地図」をもとに作成

課題

- 市内スポーツ施設の
老朽化進行



検 討

- アリーナの整備を求める声
- 都心軸周辺エリア「にいがた2km」に近接するまちなかエリア
- 体育施設や文化施設が集まる新潟の文化・芸術の拠点

白山エリアにおけるアリーナ整備へ

まちなかに人が行き交い

賑わい創出・経済活性化

プロスポーツを応援する市民・県民性

■ サッカー

デンカビッグスワンスタジアムを**オレンジ色に染めるサポーターの熱量は全国屈指！**



アルビレックス新潟 総来場者数429,418人（2025年シーズン）

アルビレックス新潟レディース 総来場者数25,998人
（2025-2026シーズン）

■ 野球（NPBファーム・リーグ）

オイシックス新潟アルビレックスBC

総来場者数103,701人（2025年シーズン）

※ **66年ぶりの新球団**として2024年にNPBに参加

※ 2026シーズンの来場者数は阪神タイガースに次いで

14球団中2位（令和8年5月29日時点）



■ バスケットボール



新潟アルビレックスBB（男子）総来場者数57,341人（2025-2026シーズン）

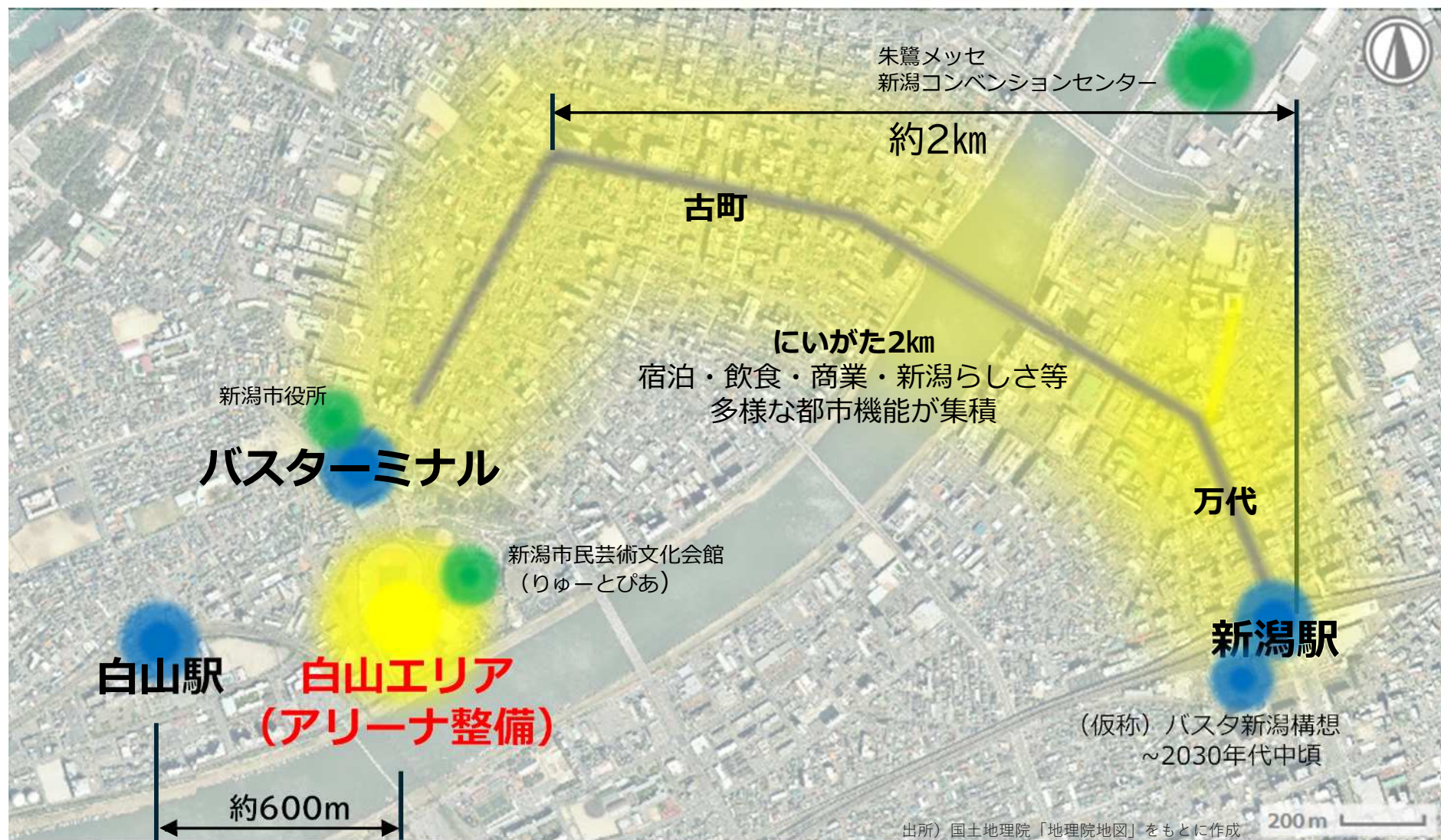
※ 2000年に誕生した**日本初のプロバスケットボールチーム**
（プロ化の先駆けとして設立）



新潟アルビレックスBBラビッツ（女子）総来場者数8,567人（2025-2026シーズン）

⇒新潟はプロスポーツを応援し、熱狂する「実績と土壌」がある

アリーナを核とした白山エリアのまちづくり



白山エリアは日常的に人々が賑わう文化・スポーツの拠点

新潟市陸上競技場

(昭和38年供用開始)



出所) にいがたスポーツ情報ナビ

日常的に中高生、大学生等が陸上競技の練習場所として利用し、大会など専用利用を含めると、年間20万人が利用

新潟市民芸術文化会館

(平成10年供用開始)



クラシック音楽、演劇、舞踊などに対応する多彩な舞台芸術の発信拠点であり、年間29万人が利用

新潟県民会館

(昭和42年供用開始)



出所) 新潟県民会館HP

1,730人収容の大ホールや460席の小ホールのほか、美術展示用のギャラリーを備え、コンサートや講演会などで年間24万人が利用

現在でも年間70万人以上が利用し、日常的に市民が訪れる拠点

➡**アリーナが実現**すれば、各施設のイベントの連動を通じた相互送客や、来訪機会のさらなる増、エンタメ・文化・スポーツの情報発信拠点と白山エリアの多様性のさらなる向上が期待

白山エリア周辺のポテンシャル

■ 白山エリアのまちづくりと新たな可能性

➤ 高い公共交通サービスと隣接する滞在空間

- ・ 白山エリアに接続する充実した**バスサービス**
新潟駅からピーク時で3~8分間隔程度、オフピーク時でも10分間隔程度の頻度で運行し、バスターミナルと接続
- ・ **JR白山駅から徒歩10分以内でのアクセス**
- ・ 周辺にシェアサイクルステーションを整備
- ・ **やすらぎ堤や白山公園を活用した、大規模来場者の滞在空間**

➤ 多くの若者がまちなかに滞在

- ・ 人口10万人当たりの専門学校生徒数が政令指定都市の中で第4位
- ・ 「にいがた2kmエリア」に多くの専門学校が立地
- ・ 新潟市内に**大学等の数が15校 2.5万人の学生が滞在**

➤ 訪れた方と「まち」との接点の創出

- ・ 周辺には、**新潟の湊町文化、食文化**を感じられるサービスが豊富
- ・ にいがた2kmエリアに、**宿泊室数7,000室以上（1万人以上が宿泊可能）**
- ・ にいがた2kmエリアに、**駐車場区画数1万台以上**



アリーナを核とした白山エリアのまちづくり



出所）国土地理院「地理院地図」をもとに作成

交通アクセスの状況について

白山駅：0.6km ※徒歩8分

JR白山駅利用者数：約340万人/年（令和5年度）
白山駅前バス停利用者数：約23万人（令和6年度）

市役所バスターミナル：0.5km ※徒歩7分

市役所前バス停利用者数：約114万人（令和6年度）

古町エリア：0.6km（上古町まで）※徒歩8分

古町エリア駐車場：約6,000台
※白山エリア駐車場：876台

エリア面積について

エリア面積 約69,000㎡ ※赤囲み部分
アリーナ整備 想定活用可能面積 約35,000㎡
（今後、測量を実施）

スポーツ施設の再編

■ 1万人規模のアリーナの新設

➢ 多目的な施設

- ・スポーツ：プロスポーツ、国際大会など
- ・エンターテインメント：コンサートなど
- ・MICE：展示会、見本市、コンベンションなど
- ・防災拠点（避難所、物資の拠点）

■ 市陸上競技場の改修（または建替）

➢ 引き続き機能を維持

- ・市民の日常利用に資する利便性の向上
- ・諸室（会議室・更衣室など）の充実
- ・利用状況に合わせた規模へ改修

➢ サブトラックの廃止

■ PFIにより、民間の資金と経営力・ノウハウを活用し、効果的・効率的な整備、運営

➢ 各施設の一体的な整備・運営も視野に検討

市民の新たな楽しみの創出

まちの活力と賑わいの創出

わくわくする新たな日常の創出を目指す

スポーツ（プロスポーツ、国際大会など）



MICE（展示会、コンベンション等）



エンターテインメント（コンサートなど）

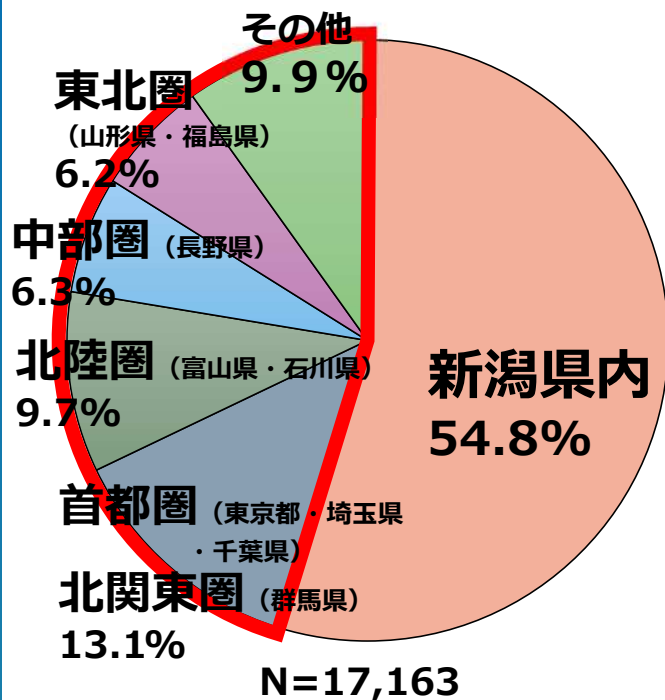


防災拠点（避難所、物資の拠点）

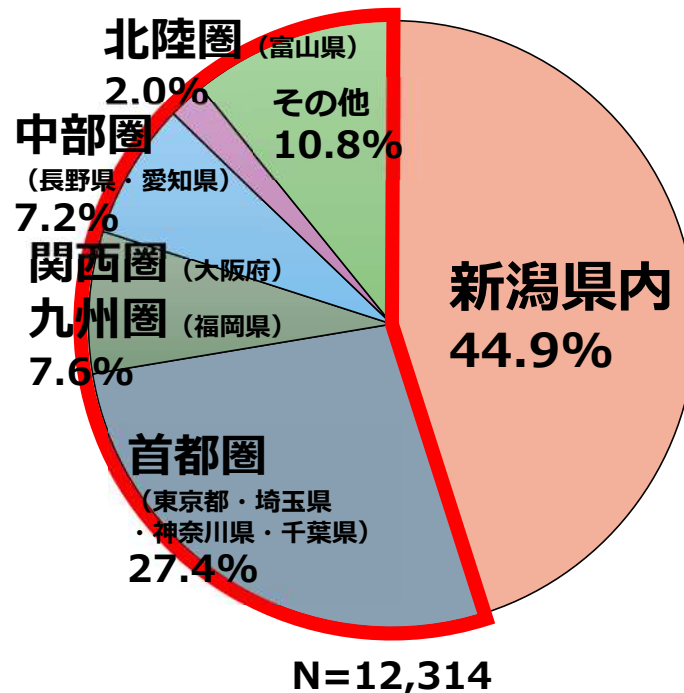


新潟でコンサートを実施すれば県内も、県外も商圏

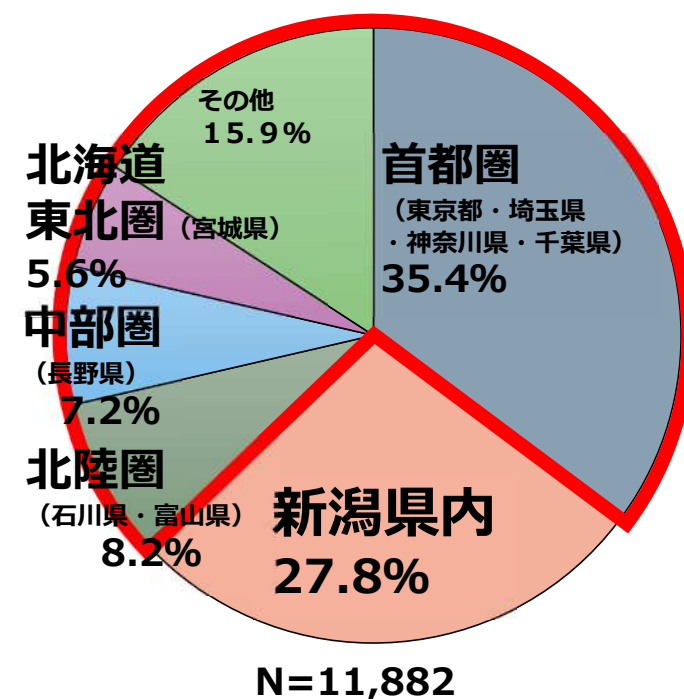
ケース1) 2025年1月17日18日
米津玄師 2025 TOUR / JUNK
@朱鷺メッセ



ケース2) 2025年7月19日20日
なにわ男子LIVE TOUR 2025
'BON BON VOYAGE'
@朱鷺メッセ



ケース3) 2025年12月13日14日
Number_i LIVE TOUR 2025 No. II
@朱鷺メッセ



新潟県内に加え、首都圏を中心に**全国の商圏を取り込むポテンシャル**がある

KDDI Location Analyzerを用いて新潟市が作成

令和10年代中盤の開業を見据えて

【事業スケジュールイメージ】



民間事業者の皆様へのサウンディングや、関係者との協議によりスケジュールを精査します

【現状認識】

施設整備を取り巻く環境は大きく変化

- 建設費の高騰
- 人手不足の深刻化
- 施設完成後の運営リスク（運営者不在／ライフサイクルコストの非最適／運営しにくい施設）

できる限り早期の開業 × 運営を起点とした施設整備 を目指します

若者が夢や希望を持てるまちへ



アリーナを核としたまちづくりへの効果



「選ばれる都市 新潟市」の実現に向けて

